

## 産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 玉野 高等学校
実践場面	総合的な探究の時間等における「エリアティーチャー」
実践日時（時期）	令和5年11月以降随時
対象生徒（学年）	普通科全学年（主に2年次生）
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定（ 玉野商工会議所 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他

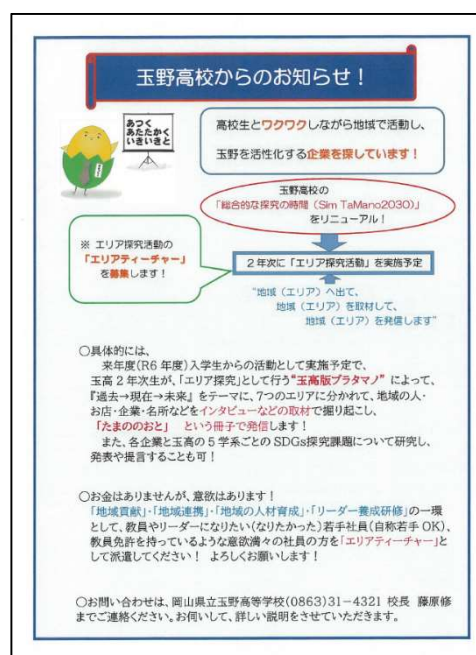
### 実践の内容

#### 【現状】

- 令和2年度に立ち上げた学校運営協議会において、「地域等との連携や主体的な学びにより、社会の発展に貢献する人材を育成する」という学校教育目標や、学校経営計画の「総合的な探究の時間による地域密着型の探究活動の推進」という重点目標などを共有した上で、地域との協働に係る取組に重点を置いて協議を進めている。
- 具体的には、「Sim Tamano2030（総合的な探究の時間）」において、玉野市を舞台にSDGsの理念を踏まえて、2030年の地域と自分の将来について深く探究している。

#### 【実践内容】

- 令和6年度から、この取組のリニューアルを予定しており、2年次に「エリア探究活動」として、「地域（エリア）へ出て、地域（エリア）を取材して、地域（エリア）を発信する」ことを実施する。
- 具体的には“玉高版プラタマノ”によって、「過去→現在→未来」をテーマに、7つのエリア（玉野市内の7つの中学校区を想定）に分かれて、地域の人や企業や名所などをインタビューなどの取材で掘り起こし、「たまのおと」という冊子にまとめて発信したり、玉野市への未来提言などの活動実施を計画している。
- 学校運営協議会会長が玉野商工会議所会頭であるというつながりもあり、包括連携協定を利用して、「エリア探究活動」を支援する「エリアティーチャー」募集のチラシを、玉野商工会議所が発行する「会報たまの」に掲載した。
- チラシでは、「地域貢献」「地域連携」「地域の人材育成」「リーダー養成研修」の一環として、社員を「エリアティーチャー」として派遣いただくことを依頼している。



### 実践による効果等

- チラシを見て、企業からの問合せが1件（令和6年3月現在）あった。
- 今後、「エリアティーチャー」とともにチームとして活動し、地域で育てられた若者が、憧れていた先輩と同じく、育てる側に立って次世代を育てるような、繋がりのある地域になっていくことが期待される。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）